

◆市長メッセージ

本年も残すところ僅かとなりました。新型コロナウイルス感染症で抑圧された年、やっと平時を取り戻せそうな感じがしてきました。しかし、まだ油断はできません。インフルエンザの発生期に入り複合感染の恐れを注意しながらの生活を心掛けていきましょう。

来年の話をするとう鬼が笑うと言われますが、アフターコロナ、ウィズコロナの生き方、まずは自らの目的を明確にもって平穏な生活の復帰を目指す計画を立てることが大切であると思います。西洋の諺で「天は自ら助けるものを助ける」とあります。その上に協働互惠が成り立つものと思います。国も戦後、最大限の予算を投じて国民生活の復興を目指し努力してきたと思います。自助、公助を合わせて誰もが住みやすい大田原市をつくって参りましょう。

年末年始ご自愛いただき令和4年をお迎えください。今年も大変お世話になりました。

